

あおえネットワーク

岡山赤十字病院 患者サポートセンター



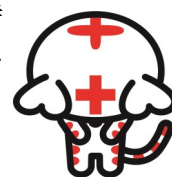
研修会・カンファレンスのご案内

※詳細は同封のポスターをご参照ください
※会場参加の際は、感染症予防対策にご理解・ご協力をお願いいたします

日時・会場	名称	演題・演者等
令和7年2月27日(木) 19:00 ~ 21:00 岡山赤十字病院 南館1階 研修室 (ハイブリッド開催)	「認知症サポ ート医研修」及び 「地域における 認知症患者支援 体制の確保のた めの連絡会議」	1. 認知症サポート医研修 19:00~20:30 講演『岡山市認知症疾患医療センター13年間で学んだこと』 岡山赤十字病院 精神神経科部長 (岡山市認知症疾患医療センター センター長) 中島 誠 《生涯教育カリキュラム(1.5単位):29認知能の障害》 2. 地域における認知症患者支援体制の確保のための連絡会議 20:30~21:00 「地域における認知症患者に対する支援体制についての意見交換」 《生涯教育カリキュラム(0.5単位):13医療と介護および福祉の連携》
令和7年3月5日(水) 19:00 ~ 19:20 岡山赤十字病院 南館1階 研修室 (ハイブリッド開催)	第31回 地域連携パス 連絡会	『脳卒中パスについて』 岡山赤十字病院 脳卒中科部長 岩永 健 『大腿骨頸部骨折パスについて』 岡山赤十字病院 第二整形外科副部長 (兼)リハビリテーション科副部長 上甲 良二
令和7年3月5日(水) 19:30 ~ 21:00 岡山赤十字病院 南館1階 研修室 (ハイブリッド開催)	第92回 岡山赤十字病院 病診連携研修会	テーマ『血液疾患領域における病診連携の現状』 講演Ⅰ『当院の骨髄異形成症候群と急性骨髄性白血病の診療』 岡山赤十字病院 第二血液内科部長 新谷 大悟 講演Ⅱ『当院の悪性リンパ腫の診療』 岡山赤十字病院 院長補佐・がんセンター長 (兼)第一血液内科部長 藤井 総一郎 《生涯教育カリキュラム(1.5単位):12:地域医療(1.0) 0:最新のトピックス・その他(0.5)》

「感染症に関する行動・健康チェック」の廃止のお知らせ(再掲)

10月号にてご案内させていただきましたとおり、令和6年10月より紹介患者予約申込時の「感染症に関する行動・健康チェック」を廃止しております。紹介予約時には「紹介患者予約申込書」と「診療情報提供書」をFAXしていただきますよう、お願い申し上げます。
なお、当院にご来院の際には引き続きマスク装着の感染対策を継続しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



ご要望・ご意見等ございましたら、「診療所の先生方の声」として地域医療連携課までお寄せください。

TEL/086-235-8555 FAX/086-235-8556 e-mail/renkei@okayama-med.jrc.or.jp

院内Topics ニュース&報告

Da Vinci肝切除、はじめました。

約10ヵ月あまりの準備期間を経て、2024年12月より当院でロボット支援下(da Vinci)肝切除がスタートしました。準備段階より技術指導いただいていた広島市民病院の先生方をプロクター(指導医)として招聘し、去る12月2日に第1例目の手術が行われ、術後問題なく元気に退院されました。

肝臓領域におけるロボット手術は県内では岡山大学病院、岡山済生会総合病院、倉敷中央病院に次いで4番目の導入になります。導入に際し多大な技術協力をいただいた広島市民病院をはじめ、名古屋市立大学病院や院外の多くの先生方・スタッフの方にご協力いただき、また院内でも外来・病棟・オペ室・麻酔科のみならず、泌尿器科の先生方に腎機能を改善していただいたり、消化器内科の先生方に化学療法で病勢制御していただいたり、さらには医事課や人事課にも関わっていただいたりと、本当に病院の総力を挙げてご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

2025年は脾臓手術についてもロボット支援下(da Vinci)脾体尾部切除術の導入を予定しています。肝胆脾領域は解剖学的に非常に複雑な臓器であり診断や治療の難易度が高く、より高度な専門的知識や技術が求められます。高度進行癌に対するMaximum invasive surgeryとロボット手術を中心とするMinimally invasive surgeryの二極化が今後は更にすすんでいくと予想され、内科・外科・麻酔科・放射線科・病理診断科・手術室・中央放射線部・外来・病棟がONE TEAMとなり「患者さん一人一人に向き合い、最後まで諦めない癌治療」をひとりでも多くの患者さんに提供できるよう、今後も高い医療水準を保つ事に努め、肝胆脾領域における専門医施設としての役割を果たしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

消化器外科 杭瀬崇



第91回岡山赤十字病院病診連携研修会

令和6年11月6日に第91回岡山赤十字病院病診連携研修会が開催されました。今回の研修会は、「余命告知をせずにその人らしく人生を全うできるか～余命告知を多職種で考える～」をテーマに、一人の患者さんの事例を通し、急性期病院での治療や在宅移行支援をした過程を経て、退院後は在宅医療を受けながら生き生きと暮らされている患者さんの様子が各パネラーから発表されました。退院後の療養支援の場では、余命告知の有無はあまり重要ではなく、病気を持った生活者として価値観を尊重しながら支援されていたのが印象的でした。

「余命告知」や「その人らしさ」という大きなテーマではありましたが、会場からは活発なご意見があり、パネルディスカッションの時間設定が短すぎたと反省しております。アンケート結果では「多職種の思いが聞けてよかった」「大切なことを改めて考える機会となった」と、よいご意見をいただくことができました。

にった整形クリニックの新田浩喜先生、乳腺・内分泌外科部長の吉富誠二先生、世話人として会をまとめていただきありがとうございました。

また、忙しいなか快くお受けいただいた発表者の皆様には感謝を申し上げます。

患者サポートセンター 平井由紀恵

